

令和5年12月

令和5年度現職教員の新たな免許状取得を促進する講習等開発事業

第1回評価検討委員会協議事項

岐阜女子大学

<事業概要>

本学が連携する教育委員会からの情報提供により、岐阜県においては、中学校教員が小学校教員免許状を併有している割合が74.9%と高い状況であるに対して、沖縄県においては、僅か6.8%と大変低い状況となっている（平成28年度調査）。

そこで、全国の教員を対象に（特に沖縄の教員を対象に）小学校教員2種免許状を取得するに当たり現職教員が取り組みやすいようにオンラインでの講習を開発し、下記の観点で免許法認定講習等のプログラムを開発し実施する。

なお、原則3年で教員免許状を取得できるよう講習を開発する予定であり、令和4年度は初年度として2科目・4単位の講習を開発し、令和5年度は新規に2科目・3単位の講習を開発し、合計4科目・7単位を開発する。

今後、教育のデジタルトランスフォーメーション（DX）が加速する中、本学は、ニューノーマル時代に求められる学びの在り方に対応するため、現職教員を対象として、本学における今までの「オンライン教育の実績」と「膨大な教育リソース（デジタルアーカイブ）」を最大限に活用する「e-Learningを主体とした授業」として展開する新しい遠隔教育を推進する。

特に令和5年度は、これらの自律的なオンライン講習と教えないで学べる学習環境をデザインすると共に、実務経験3年以上の中学校教員を対象に新たなキャリアとして「小中連携教育コーディネータ」を位置づけ、その人材を養成することを通して、小中学校免許状併有を促進し、学び続ける教師を推進する。

<評価委員の皆様にお尋ねしたい内容>

協議1 小中連携教育コーディネータの必要性について

中学校実務経験3年目以上の教員が新たに小学校教諭二種免許状の取得を目指す場合、小中連携教育コーディネータの資質能力を中心とした小学校の養成課程の内容を学修することにより、小中連携の教育をスムーズに実施することができると考えています。そしてそのような学修を実施した人材を「小中連携教育コーディネータ」として位置づけ、新たなキャリアとしていく方向性を考えました。この「小中連携教育コーディネータ」の必要性について、委員のご意見等をお聞かせください。

【資料】

・小中連携教育コーディネータ概論（p.6-7）

第2講 小中連携教育コーディネータ

1. 小中連携教育コーディネータ

【ご回答】

協議2 小中連携教育コーディネータのカリキュラムと資質能力について

「小中連携教育コーディネータのカリキュラム」は、以下の4つの観点により構成しています。

1. 義務教育9年間全体を俯瞰する視点を持ちつつ指導する力
2. 教科横断的な視点で学習内容を組み立てる力
3. キャリアステージに対応した教員の資質能力
4. インストラクショナルデザイン指導力

そして、「小中連携教育コーディネータの資質能力」のは以下の6つのカテゴリーにより構成しています。

1. 学習指導
2. 生徒指導
3. 経営・分掌
4. 特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応
5. ICTや情報・教育データの利活用
6. インストラクショナルデザイン指導力

そこで、このカリキュラム並びに、資質能力が、「小中連携教育コーディネータ」として適切であるかについて、委員のご意見等をお聞かせください。

【資料】

- ・小中連携教育コーディネータ概論（p.8-9）
 - 第2講 小中連携教育コーディネータ
 3. 小中連携教育コーディネータ養成カリキュラム
- ・小中連携教育コーディネータ概論（p.11-13）
 - 第2講 小中連携教育コーディネータ
 3. 小中連携教育コーディネータに求められる資質能力の構造化

【ご回答】

協議3 小中連携教育コーディネータ養成の科目内容について

小中連携教育コーディネータ養成における実施科目の内容について、委員のご意見等をお聞かせください。

1. 科目の構成

科目区分	科目名	授業形態	時間数
大学独自科目	小中連携教育コーディネータ概論 *	ハイブリッド型	15
各教科の指導法に関する科目 (5科目 10単位) (所有する全ての中学校教諭免許相当する教科を除く) 注2)	初等教科教育法 (国語) (書写を含む)	ハイブリッド型	15
	初等教科教育法 (算数)	ハイブリッド型	15
	初等教科教育法 (体育)	ハイブリッド型	15
	初等教科教育法 (音楽) *	ハイブリッド型	15
	初等教科教育法 (理科) *	ハイブリッド型	15
	初等教科教育法 (外国語)	ハイブリッド型	15
生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論 及び方法 (1単位)	生徒指導論 (進路指導を含む) *	ハイブリッド型	8
教育相談 (カウンセリングに関する 基礎的な知識を含む.) の理論及び 方法 (1単位)	教育相談Ⅱ (カウンセリングを含む) *	ハイブリッド型	8

* : 令和4・5年度に作成した科目

2. 科目設定の条件

中学校教員免許状保有者で、かつ3年以上の実務経験がある教員が、教員免許状の取得が可能な科目を設定。(教育職員免許法 第6条 別表8)

上記の科目構成、並びに現在作成しているテキストの内容に関して、その内容に対しまして、委員のご意見等をお聞かせください。

【資料】

- ・小中連携教育コーディネータ概論 (p.9--13)

第2講 小中連携教育コーディネータ

小中連携教育コーディネータ養成コース

小中連携教育コーディネータに求められる資質能力の構造化

<作成科目のテキスト (5科目) >

- ・小中連携教育コーディネータ概論 テキスト
- ・初等教科教育法 (音楽) テキスト
- ・初等教科教育法 (理科) テキスト
- ・生徒指導論 (進路指導を含む) テキスト
- ・教育相談Ⅱ (カウンセリングを含む) テキスト

※テキストは、後日送付させていただきます。

【ご回答】

協議4 その他

その他、お気づきの点がございましたら、委員の皆様のご意見をお聞かせください。

【ご回答】